

令和3年度(2021年度)

管理事業名	サッカースタジアム事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 3	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 地域におけるスポーツの振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 38	サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室				
予算大事業名	サッカースタジアム事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)サッカースタジアム基金積立金 サッカースタジアム事業 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)スポーツ推進基金積立金 サッカースタジアム事業				
事業の目的と概要 プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的とした活動等へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行います。 スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、指定管理者である株式会社ガンバ大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金への積み立てを行います。 市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、同基金からサッカースタジアム振興事業に一部充当することにより、スタジアムの利用料金を低減し市民等のスタジアムへの利用を促進するとともに、進歩橋南詰から山田駅までの歩行者用照明設置(第2工区)を実施し、スタジアム周辺の環境整備を行いました。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
プロサッカー入場者数	人	483,189	146,374	173,021	プロサッカーの試合(J1、ワールドカップ予選、天皇杯等)の入場者数
プロサッカーの試合数	試合	37	35	31	プロサッカーの試合(J1、ワールドカップ予選、天皇杯等)の試合数
その他入場者数	人	34,197	12,286	25,358	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業、高校総合体育大会)の入場者数
その他の利用件数	件	584	426	531	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業、高校総合体育大会)の利用件数
成果の説明	当該スタジアムにおいて、プロサッカーの試合を2016シーズンより実施しています。令和3年度は、31日開催で173,021人でした。 また、プロサッカーの試合以外の利用は531件で入場者数は25,358人であり、総入場者数は198,379人でした。 前年度比は39,719人の増となっておりますが、令和2年度以前の入場者数には回復しておらず、新型コロナウイルス感染症対策による無観客試合5試合を含め、観客数が大幅に制限されたことが影響しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	1	2	3	1
その他	419,068	421,069	426,458	5,389
経常収入 小計(a)	419,069	421,071	426,461	5,390
給与関係費	22,016	11,573	13,089	1,517
物件費	151,252	151,234	156,615	5,380
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	112,203	129,107	122,479	△6,628
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	450,357	450,596	450,187	△409
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,976	855	1,043	189
退職手当引当金繰入額	479	△8,418	1,976	10,393
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	738,284	734,946	745,388	10,442
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△319,215	△313,876	△318,928	△5,052
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	1,791	45,503	43,712
特別収入 小計(d)	-	1,791	45,503	43,712
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	24,541	24,541
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	24,541	24,541
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	1,791	20,961	19,170
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△319,215	△312,085	△297,966	14,118
一般財源充当額	26,168	14,651	14,998	347
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△293,046	△297,433	△282,969	14,465

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	利用料金低減負担金 110,000千円 歩道照明設置工事(第2工区)11,802千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	419,069	421,071	426,461	5,390
行政サービス活動支出	289,170	294,810	293,918	△892
行政サービス活動収支差額	129,899	126,261	132,543	6,282
投資活動収入	112,159	129,089	122,462	△6,628
投資活動支出	268,227	270,002	270,003	1
投資活動収支差額	△156,068	△140,912	△147,541	△6,629
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△26,168	△14,651	△14,998	△347
一般財源充当額	26,168	14,651	14,998	347
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
投資活動収入	投資活動収入;スポーツ推進基金からの繰入の減
投資活動支出	投資活動支出;微増

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入場者数1人あたりのコスト	令和元年度	517,386人	617円	経常収入について、指定管理者から納入される土地賃借料等相当額は土地賃借料等として支出、大規模修繕積立金はサッカースタジアム基金へ積み立てています。 またネーミングライツ料はスポーツ推進基金に積み立てています。 上記のことから、経常費用から経常収入を除いた額で単位当たりのコストを算出しており、結果、入場者1人あたり1,608円のコストがかかっています。
	令和2年度	158,660人	1,978円	
	令和3年度	198,379人	1,608円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	855	1,043	189
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	855	1,043	189
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	有形固定資産	10,193,258	9,767,902	△425,357	固定負債	9,344	10,439	1,095
	土地	-	-	-	地方債	-	-	-
	建物・工作物	10,193,258	9,767,902	△425,357	長期借入金	-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	9,344	10,439	1,095
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	10,198	11,482	1,284
	有形固定資産	-	-	-	純資産	10,534,170	10,169,976	△364,194
	土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
	建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	333,371	399,687	66,316
	重要物品	17,739	13,870	△3,869	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-	
投資その他の資産	333,371	399,687	66,316	基金	333,371	399,687	66,316	
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-	
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-	
基金	333,371	399,687	66,316	純資産の部合計	10,534,170	10,169,976	△364,194	
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	10,544,368	10,181,458	△362,910	
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	10,544,368	10,181,458	△362,910					

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

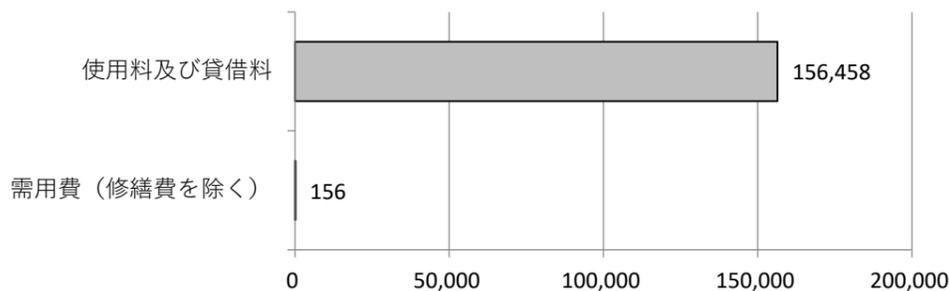
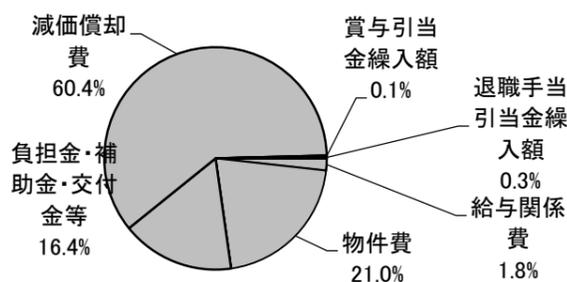
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	1.8人	日	日	16,108
給与関係費等	16,108千円	千円	千円	16,108
内、時間外勤務手当	291千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による425,357千円の減
基金	サッカースタジアム基金による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	市立吹田サッカースタジアム
取得年月日	平成27年(2015年)9月30日 竣工
建物・工作物の取得価額	12,627,191 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,859,289 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		15.7	19.2	22.6	3.4
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		4.7	2.6	2.7	0.1
経常費用対公共資産比率		5.9	5.8	5.9	0.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入については、ネーミングライツ料が年額(220,000千円)となっています。ネーミングライツ料は、スポーツ推進基金に積み立てた後、利用料金低減負担金に110,000千円、また、スタジアム周辺整備等に12,462千円の合計122,462千円をそれぞれに充当するため繰り入れました。経常経費の21.0%である物件費については、99.9%がスタジアム土地賃借料等となっており、その同額を指定管理者から納入されています。また、補助金・交付金等16.4%の主なものとしては、利用料金低減負担金に90.3%、スタジアム周辺環境整備負担金に9.7%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を積み立てたスポーツ推進基金からサッカースタジアム振興事業に充当し施設利用料金を低減することにより、スポーツ活動のみならず地域振興やにぎわいの創出を目的とした利用を促進し利用者の増加を図るとともに、市のランドマークとなるような魅力ある施設となるよう、引き続き、基金をより有効に活用し取り組むことが必要です。